

9月25日から
いよいよ
「新米コシヒカリ」を
出荷しまーす!



予想された今年の夏ですが、まずまずの天気で終わりそうです。あとは9月のお日様の照り具合で今年の味が決まります。(乞うご期待!) 予定通り9月25日に新米出荷ができれば幸いです。よろずの神々への感謝、感謝!..

さて、いつも収穫を前にしたこの頃考えることがあります。それは植物自身を持つ意志のようなものの存在です。これまで人間は「食」たる植物を人間の意志で、より多く、より美味しいものを目ざして作ってきたはずでした。そのために人間は考え、努力を重ねて作物を作り変えてきたのです。でも本当にそうなのかなーと、ふと思うのです。本当は植物の方が一枚上手で、人間を利用して生きていくのではないのでしょうか。より美味しくなることで人がその種(しゅ)を作り、その大多数を喜んで食べてもらう(食べられる)代わりに、一部の種(たね)を残し、翌年のいのちの再生を約束させている輪の中に、人と植物は共生しているのではないのでしょうか。

たった一粒の種の中に、そんなプログラムが書いてあるような気がしてならないのです。

おいしいコシヒカリのくず米とイキキした小松菜の外葉が私たち20羽のごちそう。坂井さんちの作物はなんたって高品質。そこいらの配合飼料で育ったニワトリとは体のつくりが違います。だから私たちの産む卵はひと味違うこうけあいなんです。自然の力と坂井さんの力でつくり出すパワーの中で、人は人らしく生き、鶏は鶏らしく育ち、作物は作物らしく実る。昔からくり返されてきた生き物たちの歴史が、まだここには生きています。

ここだけの話ですが、坂井さんちで何かの集まりがあると、私たちの仲間が順番に人間たちのごちそうになります。最初は驚いてしまっただけ、今は心から「いい人(鶏)生だったなあ」って思えます。自然の恵みに満ちて育った私たちですから、きっと味は絶品です。私たちは誇り高いニワトリなのです。



はじめまして
私は坂井さんちの
ニワトリです



「新米コシヒカリ出荷特別号」

1997年(平成9年)9月16日火曜日
発行/南坂井ファームクリエイト
発行者/坂井孝一
〒950-11 新潟市嘉木189
TEL 025-280-6145
FAX 025-280-3400
フリーダイヤル 0120-051858
(おこめはごんばち)
電子メール NIFTY-Serve GGD03470

一粒の「もみ」から3000粒
黄金の波の中で、感謝、感謝

紙面から

坂井ファームの新米コシヒカリ
「ごん八」いよいよ出荷!

今年も秋の気配を感じさせる季節になりました。うちのコシヒカリも日一日と頭(こうべ)を深く垂れていきます。長雨冷夏をす。長雨冷夏をす。

- 50年前の稲づくり
- 坂井ファーム農事こよみ
- 私たち、坂井ファームの応援団

今年もあります
「手つきモチ」

毎年ご好評をいただいています「杵つき餅」を、今年も販売します。興味がある方は申込用紙の案内希望に○印をつけてください。(お電話、FAXでもOK) 12月に入ったら案内をお送りします。

モチ米の最高品種「こがねもち」を、筋肉モリモリの男2人が杵と石臼でつきあげるの、この杵つき餅はネバリがあって確かにうまいと思います。では、年末をお楽しみに!

(※このモチは(当たり前ですが)絶対にカビがつかず、(脱水酸素袋で1か月後くらい)

フリーダイヤル 0120-051858
(おこめはごんばち)

究極の有機農法
50年前の稲づくり

昔々……と言っても50年ほど前までは、稲づくりとはこういうものでした。現在は機械化により人手も時間もグンと軽減されました。でも米づくりの心意気は今も昔も同じです。

春 田おこしは「くわ」で



冷たい雪どけ水の頃から田おこしが始まります。

田植
昔は5月18~20日頃でした。大勢での共同作業。そして男女の出会いの場でもありました。〈仕事のうまさ男(女)を上げた。〉

夏 ひたすら草とり



四つんばいになっての作業。稲の葉先が目にはささって痛かった。

秋 稲刈りは10~11月



刈りとった稲は水路を舟で運び、はさ掛け。早朝から夜までの作業。

冬 農閑期は縄をなう



夜なべ仕事の縄のないは、わずかな現金収入になりました。

— 春夏秋冬 —

坂井ファームの一年間です。カラーでお見せできないのが残念ですが、いつかきっと野菜の花のカレンダーを作りたいと思っています。

坂井ファーム 農事ごよみ

毎週土曜日の早朝に響きわたるほら貝一。休日を告げる昔からの習慣の名残です。現在でもその年の当番が毎週仕立て吹く決まりです。



4月 種蒔き、春祭り

8日はこの地区の春祭りの日。でもなぜか仲間の都合で種蒔き日になります。

5月 田植

3日から6日頃まで、親戚の応援をもらって田植。3時の小屋(こびる-おやつ)が楽しみです。

6月 稲が開く

目一杯お日様を浴びて、稲が開き始めます。



◀種まきプラントは8人くらいの共同作業。仲間同士で行ったり来たりの“ゆい”の交換です。一本のコンペアで、空箱から土詰め、播種、灌水、覆土まで。約4000枚分蒔きます。



▶JA主催の「体験田植」も行われています。

7月 十全なす

新潟特産の十全なす。浅漬けが最高です。

8月 田も畑も花盛り

茶豆の花を見たことがありますか？稲の花も上旬に開きます。チョット地味ですが……。

9月 稲刈り

一年の仕事の結果がでる秋。味がどのくらいのとっているかな？



◀なすの花、じゃがいもの花、オクラの花…。野菜の花ってほんとうに美しい。これは十全なすの花です。

10月 かきのもと

食用のキク、かきのもとが紫色の花を開きます。

11月 小松菜

このころから3月までの期間は、完全無農薬の小松菜がとれます。



▶戦車みたいなコンバインの運転は楽しいです。高価な大人のオモチャ(?)

◀イキイキとした小松菜



12月 正月準備いろいろ

暮れには自家の注連縄(しめなわ)を力こめて締め上げます。疲れるけど楽しい餅つき。その後はみんなで酒を飲んでほけします。



▶白い湯気が上がるホカホカの餅がつき上がります。

1月 作戦考案

こたつの中で一年の作戦を考案中。(実際は決算で缶詰状態)

2月 一面の雪景色

外は一面の雪景色。でもビニールハウスの中ではキュウリの苗がすくすく育っています。

3月 小松菜、女池菜の旬

小松菜、女池菜本来の旬。寒さに遭って茎は特に甘さがあります。

インターネットで『坂井ファーム』にアクセスしよう。

「いらっしやいまし 坂井ファームです」と、元気な笑顔が飛び出します。「ごん八通信」1号や、酒のつまみ特集が載っています。下のアドレスをクリックしてください。
<http://www.kamedagou.go.jp/~askodll/imdex.html>

編集後記

当初年間に数回の発行を予定していた「ごん八通信」でしたが、季節はめぐり、またもや新米出荷の時期になってしまいました。しかし、皆さんと坂井ファームをつなぐ「ごん八通信」定期発行の希望は持ち続けています。今度こそ……。皆さんからのご意見、ご感想をお寄せください。ヒシヒカリ「ごん八」についても聞かせてください。お待ちしております。

私たち、坂井ファームの応援団です！

“味”はもちろん “信頼”が嬉しい

さめてもおいしい米に びっくり

坂井ファームがお米の宅配システムをスタートした時からのつきあいです。月に10～15kgを毎回お願いしています。食べ物について、いろいろと心配なことが多い現代。作り手の顔が見える安心感が一番ですね。もちろん味は言うことなし。さめてもおいしいと評判で、友人や親戚にも紹介し、ネットワークが広がっています。(新潟市 岡野さん)

転動で新潟に住んでいた4年前、友人の紹介で坂井ファームのお米と出会いました。それまではお米に対して特別な思い入れはなかった私ですが、坂井ファームのお米はお弁当に入れても(さめても)おいしいのでびっくりしました。お米の味にうるさい東京に住む両親も「お寿司にするならこのお米！」と絶賛しています。(千葉県 中谷さん)